

大正5年5月5日木藤精一郎創立

# やまゆき会会報



令和元年12月号

# 例 会 報 告

木曽山脈：木曽駒ヶ岳(♂ 2956.1m) 初級 C

10月5日(土)～10月6日(日) 担当:藤堂尚久

都合により中止しました。

北摂：釣鐘山・石切山・満願寺・多田神社 初級B

10月6日(日) 晴れ 担当:疋田正紀 参加者 24名

阪急宝塚線雲雀丘花屋敷駅前に集合。駅前が狭いので少し歩いて旧栄根寺跡の広場で、本日のコース説明と準備体操を実施。ここには延命地藏菩薩や日本貿易開祖の銭屋五兵衛記念碑がある。ここからナイチンゲール像を見て閑静な住宅街をゆっくりと歩き、前方に見える釣鐘山を目指す。登り始めると新西国三十三箇所の観音さまの石像が迎えてくれる。信仰の山らしい雰囲気。急坂と階段の連続でアンテナ塔を経て、やっと釣鐘山(205m)へ。見晴らしは少ないが、木の間から猪名川の流れが垣間みることが出来る。

石切山へは、釣鐘山から細い荒れた道を少し下り、その後登る。展望が大きく開けると石切山展望台へ着く。見晴らしは抜群で遠くの生駒山、金剛山、その前方の大阪のビル群等。こ



で暫し展望を楽しむ。休憩後少し歩くと本日の最高峰で三角点のある石切山(283.5m)に着く。狭い場所だが集合写真を撮影し、その後ところどころ市街地を見下ろしながら歩む。

山を降りた所の長尾台ふれあい公園、満願寺参道を経て満願寺へ。団体として入山料を支払い、ここで昼食とする。許可を得た金堂下の金時茶屋前は、金堂、観音堂や書院庭園も望め絶好の食事場所であった。昼食後、境内の

坂田金時の墓を参拝後、ゴルフ場に沿った山道を歩いて湯山台住宅地へ。静かな住宅街を歩いた後、湯山台地藏尊前にて小休止した後ここから山道へ。

彼岸花や他の花々が見られ、長閑な田園風景である。皇太神社、浄徳寺、多田神社前のバス停を経て猪名川に架かる赤い欄干の橋を渡ると多田神社の南大門へ着く。大きい立派な神社で指定文化財解説板によると多くの国指定文化財、兵庫県指定文化財等もある。休憩を多めに取り、見学や御参りを行う。ここから住宅街を歩き、能勢電多田駅前にて解散。

10月としては、少し暑かったが、天候にも恵まれ低山歩き、社寺見学等を楽しめた散策であった。

コースタイム

雲雀丘花屋敷駅(9:05)～旧栄根寺跡(9:15-9:25)～釣鐘山登山口(9:50-9:58)～釣鐘山(10:15-10:20)～石切山展望台(10:40-10:50)～石切山(10:56-11:00)～満願寺(11:30-12:30)～湯山台地藏尊(13:08-13:15)～多田神社(13:45-14:10)～能勢電多田駅(14:40)解散

## 秋季一般公開ハイク 奈良：大和三山（畝傍山・天香久山・耳成山） 初級B

10月13日(日) 曇りのち晴れ 担当：藤堂節子 参加者24名

秋季一般公開ハイクということで一般の方2名が参加された。近鉄南大阪線橿原神宮前駅で副会長の挨拶の後、本日の学習目標を確認しコース説明と準備体操をし、2班に班分け出発する。

神宮の大鳥居周辺には出店が立ち並び人通りも多かった。南神門をくぐると橿原神宮本殿前は花嫁姿の方や、初参りの方々などで賑わっていた。参拝後出発しようとする、天気予報に反してかなりの降雨のため雨具を装着したがまもなく止んだ。北神門を出て、道の左手にある畝傍山登山口の道標に従い左折する。畝傍山は標高200m 足らずの低山だが急坂や露岩があり、昨日の台風通過まで数日雨が降り続いたので滑りやすく足元の注意を呼びかけた。山頂手前には天智天皇の大和三山が恋争いをしたという長歌が掲げられ、万葉の時代を思い起こす。三等三角点を確認し北の耳成山、東の天香久山と藤原宮跡、西の二上山、葛城山、金剛山が見渡せた。急坂を下り畝火山口神社と慈明寺を過ぎ、畝傍山を北に回り込み太師堂を東に進み神武天皇陵に着いた。御陵では令和の世の安寧を願い参拝した。



近鉄畝傍御陵前駅の地下道を通ったが周辺は商店や食事処もあり、国道169号を横切る辺りは街景色だった。すぐに田園風景になったところで美しい薄紫色のホテイアオイの群落が見えてきた。本薬師寺跡はお祭り準備で紅白の幔幕が張られて地域の人が忙しそうだったが、ここで昼食を取った。この後、さらに東へ進み飛鳥川を渡り、紀寺跡、法然寺を過ぎ天香久山の麓の集落に入る。道を北に折れ、天岩戸神社を過ぎ登山道を示す道標に従い登る。頂上までの道は短い階段は崩れ、水が溜まっていた。「大和には群山あれどとりよるふ天の香具山登り立ち国見をすれば……」の舒明天皇の歌が詠まれる等、特に神聖な山といわれた天香久山である。私たちが茂る木々の間から藤原京を見渡し国見をしながら休憩を取った。真つすぐ北へ下り天香山神社に出た。よく手入れされており、歴史についての看板にも興味をひかれた。稲の穂が頭を垂れる田畑の中を左折し村を東へ抜けたところで広大な広場に出た。藤原宮跡は広いコスモス畑が満開でカメラを構えた人々で賑わっている。

北に進路を取り三山目の耳成山に向かう。JR、国道165号、近鉄を横切り、耳成山公園に着く。公園北側の登山口から石段を経て少々荒れた参道を登ると耳成山口神社に、頂上はもう少し上にある。三角点はあるが展望はない山頂で、三山を巡るかなりの距離を踏破できたという達成感と開放感を感じながら、歓談のひと時を楽しむ。公園に戻ったのち、公園西からの細い道に入り直進、近鉄大阪線大和八木駅に到着、解散した。

#### コースタイム

橿原神宮前駅(9:25)～橿原神宮(9:40-9:45)～畝傍山(10:20-10:30)～神武天皇陵(11:15)～本薬師寺跡(11:40-12:05)～天香久山(12:50-12:55)～藤原宮跡(13:30-13:50)～耳成山(14:30-14:35)～大和八木駅(15:05)

### 六甲山地：芦屋地獄谷～荒地山 中級 C

10月14日(月・祝) 曇時々雨後晴 担当:広瀬美紀子 参加者7名

関東甲信・東海・東北地方に甚大な被害をもたらした台風19号の後で、中止か決行か迷いましたが、参加者の方からの電話でカットするつもりで遂行致しました。



参加者の方々の一言で予定のコース歩きましたが、岩場も無事に通過。参加者の方々は楽しそうでした。横池の霧のかかった幻想的な景色。横池から荒地山までの距離が、今回一番長く感じるコースでした。皆さんの元気にカットカットを考えて遂行した事少し反省。

参加された皆さんのお陰で、無事計画通りの歩きができました。

#### コースタイム

阪急神戸線芦屋川駅(9:10)～高座ノ滝(9:35-9:45)～地獄谷(10:00)～B 懸尾根(11:55)～万物相(11:50)～風吹岩(12:10-12:30)～横池(12:45)～荒地山(13:11-13:19)～岩梯子(13:59)～高座ノ滝(15:00)～滝の茶屋(15:10)解散

### 播州：書写山(371m) 初級C

10月19日(土) 担当:藤田洋子

雨のため中止しました。



## 読図例会：大池地獄谷・長峰山（六甲山地） 中級 C

10月20日(日) 晴 担当:西山弘一 参加者 11名

昨日の雨も上がり、初秋を感じる爽やかな朝である。神鉄有馬線大池駅に合計 11 名が集合し近くの駐車場へ移動後、山行コースの詳細説明を行う。参加いただいた 10 名の方に、出発地点から大池地獄谷・西尾根分岐点までが記載されている「約 1 万分の 1」の拡大地形図を配布。出発後は入り組んだ街中の道路を歩くことになるが、その歩行ルートを正確にトレースできるか？各自で現在地を確認しながら、歩行ルートを記入していただくことを説明後、地図を片手に出発した。

街中を抜け高速道路の下をくぐってしばらく進むと、地獄谷と西尾根の分岐点に到着し、地獄谷は左へ西尾根は右へ進むことになる。高速道路を過ぎ、谷を 1 本渡った小さな尾根上の分岐点に到着。ここで、恒例のクイズを出題。「ここは地形図上でどこか？左右どちらへ行くべきか？」10名中6名は「ここは分岐点であり、左へ行くべき」、4名は「分岐は未だ」と意見が別れる。

実は地形図をよく見ると、分岐点の前に小さな谷と小さな尾根があり、それを見つけられるか？分岐点は 2 つ目の谷を越えた次の尾根にあることが理解できるか？がポイントで、正解は「分岐は未だ。ここは高速道路通過後の谷を過ぎた一つ目の尾根の上。」であった。

昨日の雨のせいか、地獄谷の水量は多く、渡渉点では靴を濡らしながらの歩行となった。また岩が滑りやすくなっており、滑って川へ突入、水遊びされた方もいたが、ケガもなくホットした。地獄谷道途中では、堰堤後の下り階段(登山道)が途中から水没して通れず、高巻きしたが、無事ダイヤモンドポイントに到着し、昼食を取る。天気が良く、今日は、裏六甲や丹波・播磨の山々も見渡せた。



昼食後は、三国池に向かい、水面に映る中島の風景をバックに写真撮影。柚谷峠に着くと、長峰山から下山を予定していたルートが通行止めとの掲示があり、地形図で他ルートを探して下山することにした。長峰山からの大阪平野から淡路島等の眺望を堪能して、無事下山した。

### コースタイム

神鉄大池駅(8:45-9:15)～地獄谷・西尾根分岐(9:45-10:00)～ダイヤモンドポイント(12:10-12:40)～三国池(13:00-13:05)～柚谷峠(13:30-13:35)～長峰山(687.8m) (14:20-14:30)～六甲学院前(15:35)解散

## 金剛生駒紀泉山地：国見山・交野山 初級B

10月26日(土) 曇り 担当:越後富美子 参加者14名

改札を出ると空は薄曇り。天気情報では傘マークは無かったので、降らないように願いながら参加者を待ちました。念のため集合時刻後の電車を1本待ち、準備運動が出来る広い所へ移動。しばらくは舗装道を歩き登山口へ向かう。昨日の雨の影響で道は少し濡れており、湿度も高い様で蒸し暑さを感じながら国見山に登頂しました。

くもり空ながらまずまずの展望、しばしの休憩を取りました。道が濡れているので昼食をどこでと思案しながら野外活動センターに到着し、ベンチも多数あるので少し早い昼食にしまし



た。交野山に向かい食後なので身体が重いねと云いあい、立ち休憩を取りながら観音岩までの階段を登りました。ザックを置き傾斜のある観音岩の上で写真を撮り、くろんど園地へ行きました。バーベキュー広場で休憩をし、すいれん池のそばを通り駅へ向かいました。途中の月の輪滝は雨のおかげで水量があり、滝らしくなっていました。帰路の交通機関はどれが便利かと三々五々話ながら私市駅に到着しました。

### コースタイム

JR 学研都市線津田駅(9:40)～国見山登山口(10:00)～国見山(10:45-10:55)～白旗池(11:20-11:50)～交野山(12:15-12:30)～くろんど園地ゲート(13:30-14:05)～すいれん池(14:25)～月の輪滝(14:50-15:05)～京阪交野線私市駅(15:20)

### 参加者

安威順子、石井幸男、泉川剛教、井上安夫、越後富美子、太田由紀子、川西敏裕、木村俊子、竹上嘉勇、長嶋正子、原田佳忠、疋田正紀、藤田洋子、横山正紀

(越後富美子)

## 布引山地：袴ヶ岳 初級C

10月27日(日) 曇り 担当:菅生佳余子 参加者19名

袴ヶ岳は、16年前に担当した三郎ヶ岳山頂から見た見事な台形に魅せられ、数日後、登頂を試みたが、磁石を頼りに進むも目印や踏み跡はどこにもなく、倒木と藪に阻まれ悪戦苦闘するうち何度も方向を失い、時間の経過と共に体力の限界を感じたので、敢え無く撤退した。諸々の反省と憧れが交錯し、今なお心に深く残る山である。

近鉄大阪線榛原駅からバスに乗り、赤埴口で下車。道路の反対側に移動し、本日の学習テーマとした「ルートファインディング」について地形図と鳥瞰図を配布し説明した。国道 369 号線から「おいせまいり」と書かれた木札のある伊勢参宮本街道に入り、高井の千本杉を経て、室町時代に 100 年間存在したと言う「諸木野関所跡」に着く。当時の関所に付いて調べうち、室町幕府 6 代将軍・足利義教はくじ引で選ばれたとの逸話があった。縦横無尽に広がる道路から伊勢本街道を選びつつ、この街道で一番高所にある石割峠に着き、集合写真を撮る。元来た道を引き返し、地形が読みやすい袴ヶ岳東側 1 本目の谷から入る。有難いと言うべきか否か、つい最近ユンボが通ったようで、タイヤ痕が残っており、石がむき出しになっているが、登山道は明快！ 程なく峠に着き昼食とする。



袴ヶ岳に登る反対側の尾根に踏み跡を見つけたので、少し離れて見ると切り通しになっていた。いきなりの急斜面を登りササ藪を抜けると、苔むした痩せ尾根の露岩帯だ。続く岩場の急斜面には何本ものフィックスロープがあり、一登りすると袴ヶ岳山頂に着いた。狭い山頂なので早々に引き返し、朝方、重要ポイントとして説明した P790m から南に下り大野分岐へ。此处で、再びルートファインディング。内牧方面への情報が無く、廃道の恐れもあるので、例会予告の逆ルートで下見をしたが、生活道路に惑わされ目指す方角の説明が難しいので、地形図にある郵便局のマークを目指す事にして出発。林道の南側に現れる小道を利用し、南へ南へと下って行くと、早々に目的地に到着した。隣接する「内牧簡易郵便局バス停」からのバス発車時刻まで時間があるので、榛原まで歩くと言う猛者、行ける所まで歩くと言う準猛者、が数名現れたのでここで解散とした。

#### コースタイム

コミュニティー奥宇陀わくわくバス・榛原(08:11)＝赤埴口バス停(08:27-08:38)～高井千本杉(9:02-9:06)～諸木野関所跡(09:50-09:55)～左・仏隆寺、右・いせ本街道石碑(10:18)～石割峠(11:03-11:06)～峠・昼食(11:42-12:17)～袴ヶ岳(12:48-12:56)～P790(13:19)～大野分岐(13:32-13:36)～内牧簡易郵便局バス停(14:37)